

未来の暮らしを考える ワークショップを開催しました

日立市 × HITACHI
次世代未来都市共創プロジェクト



共創プロジェクトでは、豊かな自然や穏やかな気候、市民性といった「ひたちらしさ」に、デジタル技術を組み合わせ、誰もが安心して快適に暮らせる「スマート住宅エリア」の整備検討を進めています。その一歩として、これからの日立市を担っていく若い世代と一緒に未来の暮らしを考えるワークショップを開催しました。

問合せ 共創プロジェクト推進本部 ☎ 内線 696

未来の暮らしを考えるワークショップ

ワークショップには、大学生や20代・30代の若手社会人を中心に40人が参加。全3回開催し、フィールドワークを通して見つけた「地域の良いところや課題」を出し合いながら、2040年の未来の暮らしを話し合いました。

ワークショップで出された意見は、「スマート住宅エリア」の実現に向けた今後の検討にいかしていきます。



話し合いで生まれたアイデアを生成AIを使って画像化し、未来の暮らしのイメージを参加者で共有しました。

画像化したイメージは共創プロジェクトHPに掲載する予定です。



実のなる街路樹を植えたら自然に人との交流が生まれそう

市外に住んでいても日立市を応援できる「バーチャル市民」の制度があったらおもしろそう

市内の魅力的なスポットを交通でつなげられたらな

11/8(土) 日立市産業祭で
11/9(日) 共創プロジェクトの取組を紹介します

日立市産業祭については、17ページをご覧ください。

一人ひとりの“Action”が、この“まちの未来”をつくる。

産業祭での体験をきっかけに、あなたらしい形でまちづくりに参加してみませんか。

ご参加いただいた方には、オリジナルノベルティをプレゼント！
ここでしか手に入らない限定グッズです。ご参加お待ちしております

11月11日は介護の日

介護職員の働きやすい環境づくりに取り組む事業所を紹介します

介護サービスを受ける方が年々増えてきている中、利用者のニーズに応じた介護サービスを安定して提供していくためには、介護職員の働きやすい職場環境づくりが必要です。今回は、ベッドから車いすなどへの移動の介助について、機器を活用して職員の負担軽減に取り組む事業所を紹介します。

問合せ 介護保険課 ☎ 内線 483

特別養護老人ホーム サン豊浦

介護職員の腰痛予防のモデル事業に取り組むサン豊浦では、利用者の移乗や介助の際に、職員の腰への負担を軽減するため、リフトなどの介護機器を使用しています。



立ち上がりを補助するスタンディングリフト



ベッドから車いすへの移乗を介助する床走行式リフト

介護機器を使った移乗などは、利用者の方にも好評です。介助の負担を軽減することで、職員も、利用者の方も笑顔が増えました。



サン豊浦 平川さん